学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	建築実習(建築法規)	単位数	1単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人が生活している社会では守らなければならないルールがあり、ルールに沿って社会は成り立っています。そのルールを法律と呼び、それを守らなければなりませんが、私たちもその法律に守られています。

建築物を製作するときも法律に従って、計画・設計・施工しなければなりません。建築物にはどのような法律が適用されているかを学習しましょう。

授業期間は前期もしくは後期で、３年次の実習４単位のうちの１単位に相当します。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】建築関係法規に関する知識を習得させ、建築物の計画、設計、施工、管理などに活用する能力と態度を育む。

【思考力、判断力、表現力等】建築法規が、建築物の安全や衛生を確保する必要性から多くの関係法規によって構成されていることを、具体的な事例を通して理解し、実践的な知識を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】建築の計画、設計、施工、管理を行ううえで法令遵守の大切さを理解し、技術者としての倫理観と判断力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築法規を包括的に学習し，建築生産に役立つ実践的な知識を身につけ，建築法規に関する知識を建築物の設計や施工にかかわる業務に活用できる。	建築法規の役割について思考を深め，種々の事例に対して知識･技術を生かして適切に判断し，建築の計画･設計･施工などの学習において的確に表現できる。	建築物や都市生活の安全性，良好な都市環境を保つ観点などから，建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心をもち，主体的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第一章	第1章　建築法規のあらまし 第1節　建築法規の起源 第2節　建築法規の意義 第3節　法規の体系と建築基準法の構成 第4節　建築基準法の基本用語	(a)・今日の建築基準法に至る建築法規の歴史的変遷と社会的背景を学習し，建築法規の重要性を理解している。 ・一般的な工業製品とは異なる建築物の特性から，建築基準法の必要性や効果を理解している。 ・一般的な法規の体系と建築基準法に基づく法規の体系との関係、建築基準法の構成や条文の構成を理解している。 ・建築基準法の基本的な用語の定義や面積・高さ・階数などの算定方法を理解し，実際的な事例に適用することができる。	**課題の作成状況 技術の習得状況**	**作業記録簿**	**振り返りシート**
			(b)・社会の変化に応じた建築法規の役割やあり方について思考し，事例に応じて法規の必要性を判断することができる。 ・建築物の特性から生じるルール（規定）の必要性と効果などについて思考し，建築基準法の具体的規定との結びつきを説明することができる。 ・建築基準法と同施行令，同施行規則の関係とそれぞれの役割について説明することができる。 ・用語の定義や面積・高さ・階数等の算定方法の重要性や背景について思考し，事例に応じた適用を判断することができる。			
			(c)・今日の建築基準法に至る建築法規の歴史的変遷に関心をもち，その背景の理解に意欲的に取り組んでいる。 ・「個人の自由な意志の尊重」と「公共の福祉の増進」の観点から，建築基準法の必要性や効果などに関心をもち，実践的な学習に役立てようとしている。 ・法規の体系と建築基準法の構成に関心をもち，建築法規全般の学習に役立てようとしている。 ・建築基準法における基本的な用語と面積・高さ・階数などの算定基準に関心をもち，建築法規のほか建築計画や設計の学習に役立てようとしている。			

	第二章	第２章　個々の建築物にかかわる規定 第１節　一般構造・建築設備についての規定 第２節　構造強度についての規定 第３節　防火と避難についての規定	(a)・居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などの規制に関する算定能力を身につけ，建築の計画や設計に活用することができる。 ・換気設備・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備などの役割や設置基準について理解し，設計に活用することができる。 ・建築物の構造や規模に基づく構造計画や計算方法と各構造種別ごとの法規制について理解し，事例に応じた設計に活用することができる。 ・建築基準法と消防法にかかわる防火と避難に関する規定をその背景を含めて理解し，安全対策を建築の計画や設計に活用することができる。	課題の作成状況 技術の習得状況	作業記録簿	振り返りシート
			(b)・居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などに関する規定と建築の計画や設計とのかかわりについて思考し，建築の計画や設計に的確に表現できる。 ・換気設備・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備の必要性や居住者の安全性などについて思考し，設置基準や構造基準を建築の計画や設計に的確に表現できる。 ・建築物の構造や規模と構造計画や計算方法のかかわりなどについて思考し，事例に応じて構造基準の適用を判断することができる。 ・防火・避難・消防活動の各規定の背景について説明することができる。			
			(c)・居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などに関する規定の背景や諸問題に関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。 ・換気設備・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備の役割や設置基準などの建築設備の分野に幅広く関心をもち，意欲的に学習に取り組んでいる。 ・構造計画・設計のプロセスと構造計算の必要性や方法などについて関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。 ・建築基準法と消防法の防火と避難に関する規定の背景や諸問題に関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度